石畝　剛士　先生

先生のプロフィール

【出身地】
群馬生まれ、石川育ち
【専攻】
民法
【近年(2~3 年)の担当科目】
家族法（親族)、家族法（相続)、物権法
【生まれ変わったら何になりたい？】
もう一度自分に生まれて、人生をやり直したい

【先生の専門科目について教えてください。】

いちおう民法なのですが、最近は社会保障法にも足を突っ込んでおり、樹海でさまよっている状況です。

【今の専門科目に興味を持ったきっかけは何ですか。】

学生時代、民法が全く分からず、このまま「法学部を卒業しましたｗ」というのが恥ずかしすぎたのでもう少し勉強してみようと思いました。

【先生はどんなゼミにしていきたいですか。】

ゼミは教員が作るものではなく、ゼミ生が作り上げていくものです。しかも、「何がよいゼミか」は、毎年ゼミ生の個性や雰囲気によって変わります。こちらの希望を誘導するのではなく、「よいゼミ」にしたいと思う人が自発的にゼミを作っていく、あえて言えば、そのような環境が形成されやすいゼミにしていきたいです。

【先生が学生時代に力を入れていたことは何ですか。】

私が学生だった頃は「ガクチカ」などという言葉はなく、意識もほとんどしていませんでした。このような質問事項が出てくる時点で、今の学生さんは大変だなと思います。適当に過ごしていた学生時代でしたが、強いて挙げるなら、学生主体の任意団体（自主ゼミ）の「無料法律相談所」というところで、市民の方々の法律相談を毎週受けていたことでしょうか。あれは法律以外の面も含め本当に勉強になりました。

【先生の趣味を教えてください。】

趣味といえるほどの偉そうなものはありません。寂しい生き方ですね。せいぜい、いろんな場所を巡り、綺麗な景色を見て、ご当地の美味しいものを食べて、温泉に入ってゆっくりすることでしょうか。あと、全然関係ないのですが、ばいきんまんが好きです。

【学生に向けて一言お願いします。】

多くの学生は「やればできる子、でもなかなかやらない子」(「子」という年齢ではないのですが……）という印象を持ちます。能力があるのに勿体ないなーとも。仮に失敗しても（刑法犯にならない限り）許されるのは学生時代だけといっても過言ではありません。何でもよいのですが、むしろ勉強以外の何かに積極的にアタックしてほしいと思っています。

★　　アドバンスト石畝　　ゼミの実態！（2024 年度ゼミ生 15 名）

★　石畝　先生のトリセツ

とても熱心に学生に向き合ってくださる先生で、報告の中でわからないことがあるときはとても丁寧に教えてくださります。また、報告前にレジュメの添削もしてくださります。出張などの後はよくお菓子のお土産をくださるので毎回楽しみです！

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】 各クォーター 1 回ずつの報告準備、または対審式の準備 【長期休暇課題】 特になし

活動内容

対審式の流れ （原告側、被告側、裁判長の 3 役） 事前準備 ↓ 第一回弁論 ↓ 第二回弁論 ↓ 評決